

SIMCO通信

令和7年3月20日
第168号 発行
S-3グループ 畑尾 S-1グループ 須田

暖かかったり、寒かったり、落ち着かない日が続いていますが、3/8(土)の夜には今冬で一番雪らしい雪が降りました。寝る前に家の外に様子を見に行くと、大粒の雪が舞っており、車の上に薄っすらと積もり始めていました。「休日に雪かきか」と思いながら眠りましたが、翌日は朝から晴れており、雪の形跡は残っていませんでした。百歩譲って寒いのは我慢するので、このまま春まで雪が降らないことを願います。

S-3新人教育中

前号のSIMCOで人事異動のことが取り上げられていましたが、上野SLに代わり神谷SLがS-3の所属となりました。神谷SLにS-3の教育を実施し始めて、一月半ほど経ちました。これまでの配送や曲がり矯正という仕事から、浸炭処理の準備・バラ作業、そして炉の操作という全く違う内容の仕事に代わり、又それらを50歳過ぎてから一から覚えるので、かなり大変だと思います。まず、炉の操作を一人で任せられるように指導していますが、日常点検や洗浄機・戻し炉の操作は一人で行えるようになりました。浸炭炉(UBG・BBH)に関して、基本的な操作や動作は理解できてきています。これからは複数の炉を同時に扱うときの搬入・搬出のタイミングを覚えたり、浸炭中の制御機器の監視法(異常察知)を覚えることが課題です。神谷SLは本当に新人の如く、説明したことは全てメモを取り、わからないことは質問し、休憩も忘れるくらいS-3の仕事覚えようと頑張っています。教える側も教わる側も真剣にやっています。近いうちに神谷SLが日中、S-3で炉の操作を1人で行っている時が来るので楽しみにして下さい。



S-3内清掃

クリーンデーや空き時間を利用してS-3内の清掃をコツコツ進めています。炉体や作業場は度々、清掃を繰り返しているのですが、これまで1度も清掃したことがないであろうと思われるほど汚れているところも清掃をしました。下の写真の他にも炉体の裏や水配管・窒素タンクなど暗い所・黒い物を無くすように努めています。

制御盤上の壁 清掃前 清掃後



配線を渡しているラック

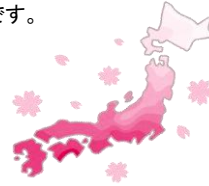


桜前線異常ナシ

今年も桜の季節がやってきました。開花予想では、東京は3月22日頃に開花して4月1日頃に満開となる予想が出ています。

私は毎年通勤時に短いですが桜並木の下を通ります。朝のチョットした楽しみの時間です。お花見はここ何十年やってないのですが、毎朝お花見をしながら通勤しているようなものです。

ちなみに地元に桜通りと名前の付いた通りがありますが、桜の木(八重桜ですが)を全て切ってしまいました。残念ですがだいぶ古く痛んできていたので仕方がなかったのでしょう。



年度末

日本の年の区切りで年度と言うのがありますよね。4月から翌年の3月までを指すものですが結構世界的に見ても珍しい区切りかたらしいみたいです。大体の国では1月や9月からが一般的みたいです。

では何故日本では4月から3月までになったのかというと、はっきりしたことはわかっていないのですが定説として、明治政府の財政赤字解消のため田租、酒造税を収める時期に合わせたという説が一般的です。

江戸時代の商人たちは売掛いわゆるツケ払いで商売をしていたので、盆と大晦日に集金していたし、武士の給料(俸禄)は2月、5月、10月の年3回だったので江戸時代以前は違っていたのです。

学校もそれに合わせたのではないのでしょうか。そのため桜の咲くころに入学式や卒業式を行うイメージがあり、特に学校を卒業して新しい生活を始めるため引っ越しなどで親や友達と別れてしまうチョット物悲しい時期でもあります。



○編集後記○

私はタラの芽やふきのとうの天ぷらが好きで春になるとよく食べるのですが、スーパーなどで売っている期間が短くなかなか多くは食べることが出来ないのが残念です。何年か前までは近所の人たちがよくおすそ分けで持ってきてくれたものですが、最近は高齢化と宅地開発でその回数も減っています。



裏面担当 S-1グループ 須田